

2025 年度

国際政治経済学部

総合型選抜Ⅲ期(課題解決型)

【確認テスト・課題解決レポート】

45 分 100 点

[確認テスト]

講義内容を参考にして、以下の間に答えなさい。

問1 図表1を参考に、総人口が毎年連続して低下するようになった時期として適当なものに○をつけてください。

1960年代 1970年代 1980年代 1990年代 2000年代 2010年代 2020年代

問2 図表2を参考に、合計特殊出生率（以下「出生率」という）が、長期的に人口を維持できる水準である2（正確には2.07）を下回り続けるようになった時期として適当なものに○をつけてください。

1960年代 1970年代 1980年代 1990年代 2000年代 2010年代 2020年代

問3 図表2において、2010年の状況を2000年と比較すると、出生率が0.03増加しているにもかかわらず、出生数は119,242人減少している。その理由を図表3も参考にカッコ内に記入してください。

[]

問4 出生率が長期的に1.2である時、子世代の人口が親世代の何%になるかについて、①と②のカッコに数字を記入してください。

式 $1.2 \div 2 \times 100 = \textcircled{1} (\quad) \times 100 = \textcircled{2} (\quad)$ 答 ②%

問5 図表5を参考に以下の問いに答えなさい。

(1) 15～64歳人口が減少に転じた時期として適当なものに○をつけてください。

1960年代 1970年代 1980年代 1990年代 2000年代 2010年代 2020年代

(2) 65歳以上人口が減少に転じる時期として適当なものに○をつけてください。

2000年代 2010年代 2020年代 2030年代 2040年代 2050年代 2060年代

問6 図表8によれば、未婚男性の年収は既婚男性と比べてどのような傾向があると言えるかカッコ内に記入してください。

[]

問7 図表7と図表9を参考に、次のア～エの4つの文のうち正しいもの1つのカッコ内に○をつけてください。

- () ア 近年、50歳時の未婚率は女性より男性で高く、一生結婚するつもりがない18～34歳未婚者の割合は男性より女性で高い。
- () イ 近年、50歳時の未婚率は男性より女性で高く、一生結婚するつもりがない18～34歳未婚者の割合も男性より女性で高い。
- () ウ 近年、50歳時の未婚率は男性より女性で高く、一生結婚するつもりがない18～34歳未婚者の割合は女性より男性で高い。
- () エ 近年、50歳時の未婚率は女性より男性で高く、一生結婚するつもりがない18～34歳未婚者の割合も女性より男性で高い。

[課題解決レポート]

この講義を踏まえて、①日本の少子化と人口減少の現状、②その原因、③その経済社会への影響、及び④皆さん世代が子どもを持ちやすい社会にするにはどうすればよいかに関するご自身の考え、の合計4点について、この順番に記述してください。なお、4点それぞれについて、段落を変えてください。